

● 学校で取り組むSDGs～持続可能な未来を目指して～…P1	● 特別支援学級の開設…P4
● SHINAGAWA GLOBAL DAY…P2	● 品川学校支援チーム HEARTS…P4
● オリンピック・パラリンピック教育…P2	● 学校改築を推進しています…P5
● おうち時間に本と音楽が楽しめます しながわ電子図書館・音楽データベース…P3	● 83運動にご協力ください…P5
● オンライン配信！令和3年度第2回家庭教育講演会…P3	● 令和3年度教育長杯について…P6



## 学校で取り組むSDGs

持続可能な未来を目指して

現在、国際的な取り組みとして注目を集めているSDGs。

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」という意味です。2015年9月に開催された国連サミットで「世界共通の課題」として採択されました。目標達成時期は2030年とされ、貧困の撲滅や環境保全、健康の促進など17の分野について、一人一人が自己認識をもって課題解決に挑むことを目指しています。

品川区立学校では、8・9年生の市民科において持続可能な開発目標を取り上げ、現代社会の問題について認識を深めています。他の学年においても、各教科でSDGsについて学んでいます。

また、特設コーナーを設けるなど、積極的に取り組む学校も増えはじめています。

学校での事例をいくつか紹介します。

### 山中小学校

17の目標を意識させながら授業を展開し、児童会や委員会が中心となって、リサイクルや食品ロスなどの環境問題の意識化を図っています。また、「山中小おやこエコクラブ」を毎月発行し、親子でできる活動や、一人一人の意識を高める取り組みを促しています。こうしたことがきっかけとなり、児童はSDGsを他人ごとではなく自分のこととして捉えることができようになりました。



### 富士見台中学校

令和元・2年度東京都教育委員会持続可能な社会づくりに向けた教育推進校として、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点に立った学習指導を実施しました。様々な教科

と関連させながらSDGsを題材とした問題解決型の学習に取り組み、外部人材や地域資源等の活用を意識した活動を行いました。

これらを通して、各教科等において、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を図ることができました。

### 八潮学園

児童・生徒会では、各種委員会の目標をSDGsに関連付けて活動しています。役員が全校朝礼で牛乳パックのリサイクルについてSDGsの視点を踏まえて発表したことにより、全校児童・生徒の認識が高まりました。

また、生徒会新聞や委員会の活動内容を掲示するなどして、全校をあげてSDGsを意識した取り組みを行うよう工夫しています。



# グローバル人材の育成に向けて

## SHINAGAWA GLOBAL DAY

区では、区立学校教育要領に基づいた一貫教育の中で、9年間の系統的な英語教育、市民科学習やオリンピック・パラリンピック教育などを通して、「グローバル人材の育成」を目指しています。

令和3年11月6日に開催した「SHINAGAWA GLOBAL DAY」では、「グローバル人材育成」に係る取り組みについて、区立学校全員の学校公開、オンラインでの英語学習成果発表会などを行いました。

午前中に実施した各学校での学校公開では、ALTやJTEと連携した英語学習、オリンピック・パラリンピック教育で関わってきた世界各国の方々との交流活動、様々な職業の方々から学ぶドリームジョブなど各学校の実態に応じた内容を公開しました。

午後は、英語学習成果発表会・英語教育シンポジウムの様子をオンラインで配信しました。学習成果発表会では、各区立中学校・義務教育学校(後期課程)から選出された代表



英語での発表

### SHINAGAWA GLOBAL DAYの様子



ジュニア・イングリッシュキャンプ



ドリームジョブ

生徒15名が、素晴らしい英語力を披露しました。シンポジウムでは、「子どもたちの未来を見つめる」をテーマに、区立学校の先生や生徒、卒業生らがディスカッションしました。

## オリンピック・パラリンピック教育

区では、知・徳・体の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指し、平成28年度より年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック教育を実践してきました。

特に、児童・生徒がオリンピック・パラリンピックに興味・関心を持ち、自分たちができることを真剣に考え、積極的に関わろうとする意欲を高めることを目的に作成した学習教材「よいういど! しながわ」は、東京2020大会を見て感じたことを記載するなど、振り返りでも活用されました。



品川区オリンピック・パラリンピック学習教材

東京2020大会以降も、各学校の実践をレガシーとして、共生社会の実現に向けて、家庭や地域と連携を図りながら進めていきます。

### 各校でのオリンピック・パラリンピック教育の実践



国際的な視野 国際交流の推進



おもてなし 商店街に元気をおくらうプロジェクト



和の心 しめなわ作り

**おうち時間に  
本と音楽が楽しめます**  
しながわ電子図書館・  
音楽データベース

区立図書館では、インターネット上で本や音楽が楽しめる「しながわ電子図書館」と「音楽データベース」を導入しました。おうち時間の一つの楽しみとして、利用してみませんか。

**しながわ電子図書館**

鳴き声の出る図鑑、動く絵本、レシピ本など約1000タイトルの電子書籍が楽しめます。また、区立図書館で年2回発行している広報誌『リーリー』も読むことができます。

**利用できる方**

区内在住で、図書館の利用登録をしている方

**貸出点数**

1人2点まで

**貸出期間**

14日間(1回延長可)

**音楽データベース**

クラシック音楽を中心に、CD約13万枚分・200万曲以上の音源が視聴できます。検索機能も豊富で、お探しの楽曲が簡単に見つかります。

**利用できる方**

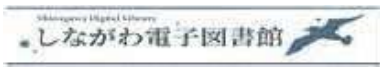
区内在住で、図書館の利用登録をしている方

**利用期間**

14日間または無制限

(利用方法により異なります)

詳細は図書館ホームページをご確認ください。



しながわ電子図書館 [はこちら](#)



音楽データベース [はこちら](#)



**オンライン配信!**

**令和3年度  
第2回  
家庭教育講演会**

教育委員会主催で毎年開催している「家庭教育講演会」。12月に行われた第2回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、講演を収録し、区立学校・区内幼稚園の保護者と学校関係者向けに、YouTubeで限定配信しました。

今年度のテーマは「家庭で考えるコロナ禍での子どもの心」です。今回は、臨床心理士の湯野貴子氏を講師に迎えました。湯野氏は精神分析的心理療法、プレイセラピーを専門とされ、医療や福祉、被災地などの現場で子どもの心理支援に携わっていらっしゃいます。

講演では、コロナ禍での子どもの心の状況やストレスサイン、コロナ禍をトラウマにしない方法、子どもと一緒にできるセルフケアの方法や遊び方等についてお話しいただきました。「コロナ禍において、遊びに行けないこと、日常生活を以前と同じように送れないこと、親が社会全体の不安

等からストレスを抱えていることなどが、子どもの心にも大きな影響を及ぼしている。子どもたちのストレスを軽減するための方法としては遊びがとても重要であり、子どもの自由な遊びに寄り添うことが大切」とのことです。また、災害支援で実際に使われる親子遊びとして、呼吸法、リラックス、ヨガを使った遊びや、温もりやスキンシップを取り入れた遊びなどを紹介いただきました。

視聴した保護者からは、「早速生活に取り入れてみたい」「子どもと自分の心について考える良い機会になった」等の声が届いています。

来年度も家庭での教育に役立てていただけるようなテーマで開催していきます。



講演する臨床心理士 湯野貴子氏